



西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校
令和 6 (2024) 年度 3 月号
<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/>

《教育目標》
◇心豊かな人
◇自ら学ぶ人
◇健康な人
『自主自律』の精神

いつも地域に見守られてきました 校長 宮崎 宏明

今年は暖冬と言われながらも、日本海側などでは大雪に見舞われるなど、目まぐるしく変わる天候に悩まされました。特に本校の2年生が菅平スキー移動教室に出かけた2月5日ごろは、強い寒波の到来を心配しましたが、現地はもちろん往復も含めて大きな混乱もなく、心に残る素敵な時間を過ごすことができました。2年生が東京に戻る2月7日には1年生も校外学習に出かけ、晴天の都心や下町での散策を楽しみました。この時期インフルエンザやコロナの蔓延も心配しましたが、本校においてはこれまで大きく流行することはありませんでした。

三寒四温を繰り返し、季節はまさに春を迎えようとしています。そんな春の日に自称伝説の3年生は卒業していきます。伝説に残る最高の卒業式になるよう、学校を挙げて準備してまいります。

進級する1・2年生は伝説を超える2・3年生になってくれることでしょう。保護者・地域の皆様にはこの1年のご理解とご支援に感謝いたします。



○ スタジオジブリのアニメでよく出てくるもの

私はスタジオジブリのアニメが好きで、むかしから何回も何回も繰り返し見てきているためセリフまで覚えているほどです。特に初期に大ヒットした「風の谷のナウシカ」「天空の城ラピュタ」「となりのトトロ」などが好きですが、こうした作品にはいくつかの共通点があります。何だかお分かりですか？その一つは主人公を取り巻く「温かい地域」があることです。

「風の谷のナウシカ」では、腐海（汚染された地域）に囲まれる風の谷の人たちは、子どもから老人まで寄り添って生活し、王女であるナウシカにも気軽に声をかけ交流します。「天空の城ラピュタ」では、親のいない少年パズーを鉱山の親方はじめ地域の人たちが優しく見守ります。空中海賊が少女シータを捕らえにきたときは、地域を挙げて守ろうとしました。「となりのトトロ」では、母親が結核で入院中の幼い姉妹を、近所のばあちゃんをはじめ村中の人々が支えます。妹のメイちゃんが迷子になれば村中総出で探します。（沼から子どものサンダルが見つかったときのばあちゃんの震える手は忘れられません）スタジオジブリのアニメを見ると温かい気持ちになるのは、きっとこうした地域の温かさを感じるからだと思います。



○ いつも地域に見守られてきたことに気づいて欲しい

都市化が進み人口が流動化すると、こんな地域はどんどん姿を消していきます。特に私たちの住む東京では、地域の年中行事は廃れ、となりに誰が住んでいるかも分からない状況も見られます。

こうした中、職場体験や地域でのボランティア活動は数少ない地域との接点であり、本校でも力を入れています。また、地域の子育てに関わる諸団体や防犯・防災関係諸団体の皆様は、学校や子どもたちと地域を結んでくださっています。座席の関係上、卒業式に地域・ご関係の方すべてをご招待してお礼を申し上げることはできませんが、3年生は地域の中の中学校を卒業するにあたり、ずっと温かい地域の中で育ってきたこと、見守られてきたことに少しでも気づいて欲しいと願っています。

○ 教員の異動公表と離任式について（退職者は離任式の対象ですが、公表はされません）

教員の異動は、一昨年度から年度内で公表されるようになりました。今年度も3月20日頃に都のHP等で公表されると聞いております。これを受けて本校では、3月25日の修了式後に離任式を実施します。また、一旦下校後、在校生や卒業生を対象としたお別れ交流会を、多目的室にて15時から16時頃まで開催する予定です。もし可能でしたら、新聞や都のHPで異動者をご確認いただき、ご関係の卒業生にもお伝えいただくとありがたいです。新年度に離任式は行いません。

○ 学校改築について

今年度、西宮中改築の動きは一旦立ち止まり、西宮中周辺の区立施設の在り方も含めて包括的に考えるワークショップが春から夏にかけて開催され、多くの学校関係者や地域の皆様に参加しました。区はそこで出た意見を取り上げながら検討し、最終的に西宮中については、ゆうゆう大宮前館の機能も継承した（仮称）コミュニティーふらっと宮前（区民向け貸室等）が併設されることとなりました。

具体的な新西宮中の設計については、生徒や保護者、地域、学校関係の皆様のご意見を伺いながら、新たな協議会等で約2年にわたって検討していきます。仮設校舎の建設を令和8年度の終わりごろから始め、新校舎の完成は令和13～14年度ごろを見込んでいるとのことです。

移動教室（2年生）



2月5日（水）から2泊3日の日程で菅平へ移動教室に行ってきました。「Skey ～君たちはどうスべるか～」というスローガンには「滑る・統べる・スべる」の3つのスべるを通して、この3日間を自分達の成長の鍵としよう、という実行委員たちの思いが込められています。ふわふわの新雪を踏みしめながら、スキー初心者の生徒も最終日には見違えるように上達し、経験者も更にスキーの楽しさや魅力を味わいました。誰もが大きな達成感に満ちた表情をしていました。



インストラクターの方々とのかまくら作り、冷えた体を温めてくれた豚汁、宿泊先のソナタックの美味しい食事、友達とのカードゲームや語らい、笑い転げたレク大会…スキー以外にもたくさんの思い出をつくることができました。



実行委員が準備から当日まで、ルールを決め、当日の内容を全員が理解するための授業づくりなど幅広く活躍してくれました。そのおかげもあり、学年の友情と協力の心をさらに高めることができた3日間でした。まさに2年生の集大成としてすばらしく立派な姿を見てくださいました。（2学年主任）





集学周遊

「集団で協力しながら学びを深め、様々な場所を巡り、心が躍るような体験をすることができる校外学習を実現しよう」という願いをこめて実行委員会がたてたスローガンです。

20名の実行委員は、時間をかけてルールや守るべきマナーなどを考えてきました。その思いが学年に伝わり、校外学習を成功させようと、事前学習、コース検討に協力して取り組むことができました。

当日は天候にも恵まれ、たくさんの笑顔がみられる一日となりました。班行動を通して、たくさんの「はじめて」を経験した1年生です。仲間とともに力を合わせて乗り越えた経験は、かけがえのない思い出となり、大きく成長することができました。

優しさと思いやりが仲間を支え、友達の素敵などころをたくさん見つけることができた一日となりました。今後の学校生活の糧とし、2年生にむけてさらなる前進をしていきます。

（1学年主任）

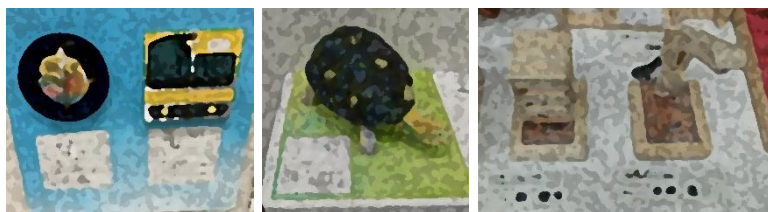
西宮祭展示会

3月1日（土）、3日（月）に西宮祭展示会が行われました。各教科の今年一年の学びの成果が校舎中に美しく飾られました。生徒たちは真剣に鑑賞して、「こんな発想があったのか！」と刺激を受けたり、上級生の作品からは来年・再来年のイメージを高めたりしていました。展示会実行委員や各係の働きぶり大変素晴らしかったです。来年度も西宮中生全員で素敵な展示会にしましょう！（技術科）



東京都公立学校美術展覧会

2月14日（金）～2月19日（水）、東京都美術館にて東京都公立学校美術展覧会が行われました。西宮中からは熱意と創意工夫あふれる5名の作品が出品されました。これから1時間1時間の授業を大切にして、「やり切った！目標を達成した！」と思えるような表現活動、作品制作をしてみたいです。（技術科）



《3月の主な行事予定》

- 1日（土）土曜授業日 落語鑑賞教室（1年）
西宮祭展示会 始
- 3日（月）全校朝礼
- 4日（火）西宮祭展示会 終
- 6日（木）中央議会
- 7日（金）特別時間割（3年）始
普通救命講習会（3年）
- 10日（月）全校朝礼 安全指導 地域貢献活動（3年）
- 11日（火）避難訓練
- 13日（木）卒業記念講演（3年）
- 17日（月）卒業式予行 3年生を送る会

- 18日（火）卒業式準備
- 19日（水）卒業式
小笠原自然体験交流 始
- 20日（木）春分の日
- 21日（金）保護者会（1年・2年）
- 24日（月）大掃除
小笠原自然体験交流 終
- 25日（火）修了式 離任式
- 26日（水）春季休業日 始

行事予定に変更がある場合は、tetoru、または書面等で、速やかにご連絡いたします。

<編集後記>

令和6年度も残すところ僅かになりました。3年生は残り数日の登校日を残し、いよいよ中学校の卒業が目前に迫っています。1、2年生も4月からの進級を控え、年度最後のまとめを行っています。

西宮だよりでは、毎月、生徒の成長や活躍、学校としての取り組みを紹介させていただきました。西宮だよりの作成作業を通じて、西宮祭をはじめとする学校行事ではもちろんのこと、日々の学校生活、学習の中で、本校の生徒一人ひとりが大きく成長していることを実感した1年でした。さらに付加価値があるのであれば、その成長を支える存在である仲間や、保護者の方々、地域の方々の多大なるご支援の大きさも実感いたしました。次年度以降も、本校の教育活動を通じた生徒の成長を発信していきたいと思ひます。どうぞ、宜しくお願いいたします。

（令和6年度西宮だより担当）